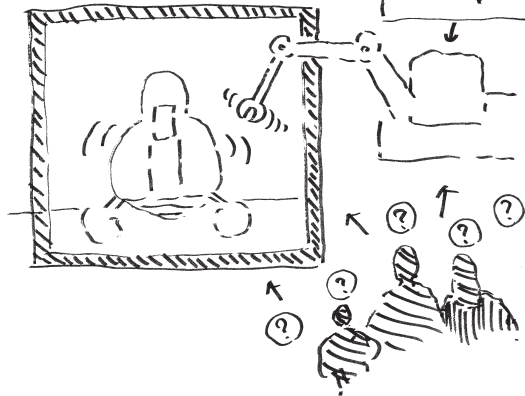




令和元年 6 月 19 日 (水)

おもて

廃炉技術は
「マジック」なんですか？



・廃炉とは言っているけど具体的に
どんな技術が使われているか分からない。
・廃炉技術が安全かどうか分からない。

うら

課題

- What, How, When の
技術的側面、経済的側面、社会的側面
通じている。整理しなくてはならず、伝わりきっていない。
- 安全のモサシを保持している。

答え

- ・「たぶん」国境を越えた最新技術が投入されていく。
- ・投入の過程で国内で実証確認が行われている。
- ・専門的には数値と根拠に「大丈夫」と言われているが、
情報を受ける側は十分な知識がなく、
安全のモサシを自分で測れず不安になる。

見通し

- ・最新の情報を十分に整理し伝える努力、
安全のモサシを保持する知識を学ぶ努力、
が必要になる。

おもて

廃炉後の将来は
どうなっていくんだろう？
(30~40年後)



人が生活していくために、廃炉後の
産業が廃炉までに整っていくかが
わからない。

うら

廃炉作業進行による
産業消失の人の減少の懸念

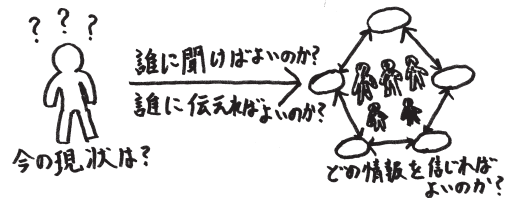
投資・人材・変化している状況などの
今あるものをうまく活用しながら、
この場所独自のメリットの~~あり~~となるものを
つくり出す。

- ・税の優遇措置
- ・社会保障制度
- ・教育・文化活動
- ・先端医療

マイナスイメージ以上の魅力の創出

おもて

廃炉の現在の状況は？



廃炉を完遂するためには住民の議論が必要だ。有効な議論を行うためには正しい知識を持っていることが大事。

うら

自分・他人が廃炉に関心を持つにはどうするべきか？
また、正しい知識を入手するにはどうすればいいか？

廃炉に関するイベントに積極的に参加する。
定期的に廃炉に関するワークショップを開催する。

正しい理解を持った個人、地域の人々、良質な印象を持つ人に情報と発信していく

